

10

国内最大級の渡り鳥の飛来地！
伊豆沼・内沼 ガン・ハクチョウ観察会

主催団体	公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 連絡先：〒989-5504 栗原市若柳字上畑岡敷味 17-2 担当者：研究室長 嶋田 哲郎 ☎：0228-33-2216 e-mail：izunuma@circus.ocn.ne.jp URL：http://izunuma.org/	
体験活動	国内最大級の渡り鳥飛来地である伊豆沼・内沼で、ガンやハクチョウの勉強をする。	
ねらい	ガンやハクチョウの生態を学習するとともに、鳥が集まるには人（農家）の存在が欠かせないことを説明を受け、鳥と人（農業）との共生について気づく。	
時間	90分（45分×2）	
対象学年	小学4年生～6年生	
関連教科等	4年生 社会：特色ある地いきと人々の暮らし 4年生 理科：動物の体のつくりと運動 6年生 理科：生き物の暮らしと環境	
対象人数	20人まで、引率教師最低2人必要（1人は救護用車担当）	
授業形態	現地での体験活動	
場所	伊豆沼・内沼およびその周辺	
時期	10月～12月	
準備物	児童：運動着（防寒着）、メモ帳	教師：特になし
留意事項		
備考		

【活動の様子】



プログラムの流れ（学習指導案） 90分

学 習 活 動	時 間 (分)	指導者の支援及び教師の役割	
		主催団体の指導者の支援	教師側の役割（最低2人）
1 農地でガン、ハクチョウを観察する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ガン・ハクチョウと人とのつながりを考えよう </div>	40	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・活動内容や場所の特徴を説明し、安全のための注意を促す。 ○双眼鏡や望遠鏡などをつかってガン、ハクチョウの生態を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○点検と確認 ・服装、準備物を点検する。 ・安全への配慮に気を配る。 ○指導者の言うことを聞くように促す。
2 移動	15	<ul style="list-style-type: none"> ・移動するバスの車内で沼の自然や地形を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者の言うことを聞くように促す。
3 サンクチュアリセンターでの講話	20	<ul style="list-style-type: none"> ○パワーポイントで沼の自然、ガン、ハクチョウの生態を説明して、人との共生を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者の言うことを聞くように促す。
4 サンクチュアリセンターでの見学	10	<ul style="list-style-type: none"> ○展示物を通して、鳥以外の沼の生物について勉強する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設内の触ってはいけないものに注意させる。
5 まとめ、振り返り	5	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の感想を発表させる。 ・挨拶して終了する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感想が出ない場合、教師が支援に入る。 ・指導者の話を反復する。 ・施設にはどういものがあつたか。